

Hallo! にちらん

“Hallo!” はオランダ語のよびかけのことばです

● ● ● 2026(令和8年)7.30

主催事業のご案内・ご報告

オランダ事情講演会参加者募集

今回のオランダ事情講演会は、講師として白石広子氏をお招きします。江戸時代、出島は西洋の文化技術を受け入れる窓口であり、そこでは多くのオランダ通詞の活躍がありました。江戸後期、文化文政期の変わりゆく国際情勢の中で、オランダ通詞の役割、幕府・蘭学者・通詞の係わりはどのようなものであったのか、通詞の一人であった本木庄左衛門の働き、特異性を中心に解説して頂きます。現代の国際情勢を考える上にも参考になるお話が期待されましょ、ご家族ご友人お誘い合わせのうへご参加ください。

演題:「文化文政期の外交と阿蘭陀通詞

一本木庄左衛門を中心に」

講師:白石広子氏 歴史研究家・博士(歴史学)・オランダ友好協会会長

著書:『じゃがたらお春・更紗の時代』

『バタヴィアの貴婦人』等
論文:「阿蘭陀通詞と異文化摩擦—文化文政時代の外交」
「17世紀、異国に生きた日本女性の生活」他多数

日時:令和8年9月27日(日)

14時～16時(受付 13時半～)

会場:佐倉市立美術館 4階ホール

対象:会員・一般

定員:90名(先着順)

参加費:200円

申込:千葉電子申請サービス

問合せ:佐倉市文化課(043-484-6191)



申込はこちらから



オランダ(蘭学)ゆかりの地巡り 秋の東京散策会参加者募集

～「森鷗外記念館」「根津神社」

他文京区千駄木周辺散策～

オランダ(蘭学)ゆかりの地巡りとして今秋は文京区千駄木「森鷗外記念館」を見学します。森鷗外は、陸軍軍医の傍ら小説家、戯曲家、評論家といくつもの顔を持っていますが、森鷗外の父森静男は1863年より佐倉の順天堂で学んでいます。また、鷗外自身も陸軍軍医として印旛郡へ演習に来た時詠まれた漢詩の碑が印旛沼サンセットヒルズ内にあります。佐倉とも大変ゆかりのある森鷗外の生涯を再確認出来たら幸いです。

日時:10月21日(水) 10:00～15:00

※小雨決行 荒天中止

集合場所:JR 日暮里駅 北改札口 出口付近

10:15集合

対象:会員とその家族

定員:20名(先着順)

参加費:500円(記念館入場料+保険料)

※交通費・昼食代は各自負担

申込:千葉電子申請サービス

※事務局員経由可

問合せ:佐倉市文化課(043-484-6191)

申込はこちらから

※詳細は受付終了後参加者にお知らせいたします。



令和8年度総会報告

4月25日(土)午後、市社会福祉センター3階中会議室に於いて令和8年度佐倉日蘭協会総会が開催され、会員、特別会員、役員、顧問計23名が出席しました。会長挨拶、文化課長挨拶に続き議案1～3号が審議され、意見交換を経て何れも賛成多数により承認されました。最後に役員、事務局員の紹介、退任について報告され、無事終了しました。総会後には同会場にて有志による茶話会が開催され、和やかに近況報告などで交流を深めました。当協会は来年設立40周年を迎え、今後も有意義な活動を計画していく予定です。会員皆様のご要望やアイデアをお待ちしています。

【会長 山岡 みち代】



オランダ王国大使館公邸を訪問

4月1日(水)オランダ王国大使館大使公邸チューリップガーデンにて行われた「チューリップ鑑賞会」に佐倉市長西田三十五様、佐倉日蘭協会員19名が招かれチューリップを眺めながら楽しい午後を過ごしました。この行事は2022年から開催されており、私は初めて参加しました。

春のこの季節の天候から、これまで何度か参加されている事務局メンバーから、雨天にあたる年も多いと聞いておりましたが、今年は雨がしっかり降る中での開催となりました。

それでも、大使館特有の厳しい入館者チェックを受けた後、緑いっぱいの通路を抜けて大使公邸へ入ると伝統的な家具、暖炉、アート、花々 とオランダの落ち着いた邸内の空気へと導かれ、日頃経験できない時間の到来を感じました。

会の初めにオランダ王国大使館全権公使ロブ・アンダーソン様から歓迎のあいさつを頂きました。その中で公使はオランダと日本の今年で426年にわたる長く、深い交流につき話されました。

昨年は大阪・関西万博でオランダ館が人気を博しましたが、今年は天皇皇后両陛下のオランダ公式訪問、フェルメールの「真珠の耳飾りの少女」が14年ぶりに日本で公開されること、更には6月のサッカーワールドカップでの日本対オランダの対戦(すでに開催され2-2の平和的な結果となりましたが)などの重要なトピックが沢山あり、更には経済的なつながりについても話され、今なお両国関係がしっかりと発展しながら続いていることを実感しました。

雨は弱まる気配がなく、庭園をめぐって15,000輪といわれるチューリップをゆっくり鑑賞することは叶いませんでしたが、懇談の時間には公邸前の庭に植わっている珍しい種類のチューリップをベランダから眺めて、ケーキとコーヒー・紅茶をいただきながら、大使館の皆様、東京の日蘭協会の皆様と楽しい時間を過ごす事が出来ました。約2時間の鑑賞会でしたが、ゆったりとした時間を堪能させて頂きました。

庭園いっぱいのチューリップを巡る来年の鑑賞会を楽しみにしながら、大使館を後にしました。

【事務局 池田 利行】



オランダ・蘭学ゆかりの地巡り

第23回東京散策会(報告)

例年のように佐倉ふるさと広場で多種多様に開花したチューリップを楽しめない今年は、東京散策会として4月12日(日)立川市と昭島市に跨る国営昭和記念公園のチューリップガーデンを訪れました。遠方ということで、会長、理事、監事、会員、家族、事務局を合わせ12名の参加でしたが、東京ドーム32個分の広大な公園では日曜日で入園者の多い中、迷うことなくチューリップガーデンと日本庭園の散策を堪能しました。

国立昭和記念公園のチューリップガーデンは、オランダ「キューケンホフ公園」元園長コスター氏の監修のもと2004年に開始されたもので、佐倉ふるさと広場のチューリップフェスタ球根数には及ばないものの、260種25万球のチューリップは、木立と溪流に沿ってバランスよく配置され、まさに全体が絵画のように我々を楽しませてくれました。園内では菜の花畑やネモフィラ畑も楽しむことができましたが、少し散策してから日本庭園「池泉回遊式庭園」を訪れ、しばし休息をとり自然景観を楽しみました。時間に余裕のある人は、盆栽苑に立ち寄り帰宅の途に就きました。

【事務局長 関 とも子】



第23回 東京散策会(国立昭和記念公園)に参加して

春、快晴の4月12日(日)JR 佐倉駅から西立川駅まで、快速/特別快速を利用して2時間で到着、駅から昭和記念公園入口までは、目の前、折から日曜日のため大勢の方々や家族連れが沢山入場しておりました。

私は昨年まで、佐倉ふるさと広場で毎年3月の終わりから4月中旬まで開催されていた佐倉市のチューリップフェスタに長年ボランティアとして活動していた関係で、この時期には他所のチューリップ会場を見学することができませんでしたので、この企画には喜んでまたチューリップと関わってきた思いを込めて、佐倉と比較しながら参加させて頂きました。

第一に地図を見て、自然あふれる広大な土地(170ha)、丁度満開のチューリップの数々を目のあたりにして驚いてしまいました。と同時に溪流沿い一帯に広がり木々に囲まれ、なだらかな芝生の傾地にチューリップの寄せ植えに、目が釘づけになり、見事な自然と水、色のコントラストに うわ！！と思わず歓声をあげてしまいました。何十年前前にオランダ旅行した際 キューケンホフ公園で見た情景がとても懐かしく思い出され、この昭和記念公園がキューケンホフ公園の元園長の監修と聞き、なるほどと うれしく鑑賞いたしました。

佐倉市のふるさと広場には植栽されていないチューリップや同じようなチューリップでも名前が異なっており260種類25万球はそれはそれは見事なチューリップガーデンでした。佐倉市のふるさと広場は8.2haの中に100種類60万球 畝ごとに 早咲き、中咲き、遅咲きとフレグランス(香り)、移り色咲き、斑入りのチューリップと 色や配置においては敷地などの条件もあり昭和記念公園にはおおよびませんが、自分が好きなチューリップを掘り取り体験ができること、東関東一のチューリップ植栽で(最高70万球) 最近マスコミにも取り上げられて 春の人気観光地でしたが……

令和11年4月の拡張される佐倉ふるさと広場に期待したいと思います。

遅い昼食後溪流広場から日本庭園に移動しましたが、ゆっくり見学することができずとても残念でしたので、次回は秋にでも企画してほしいと思いながらパークトレインに乗って帰路につきました。

9500歩以上も歩き、大変気持ちの良い疲れの一日となりました。事務局の皆様 お世話様になりました。
【理事 並木 のり子】

東京散策会に参加して

4月12日、東京散策会に参加し「国立昭和記念公園」へ行きました。立川まで行くので朝早い出発でしたが、天気も良い見学会となりました。公園へ入るとその広さに驚きました、また日曜日とあって家族連れや大きな犬を連れている人たち等大勢で園内は賑わっていました。はじめにチューリップの庭を鑑賞。この庭園はオランダ「キューケンホフ公園」の元園長コスター氏の監修によるもので、沢山の色や種類に分けられたチューリップで十分にオランダの雰囲気を楽しみました。木陰



でランチを済ませたのち、園内の日本庭園を鑑賞、池を中心とした庭園は大名庭園にみられる「池泉回遊式庭園」で、ゆっくりと景観を楽しみました。園内は大変広く、すっかり疲れて帰りは出口までパークトレインに乗りました。
【特別会員 田中 育子】

県立博物館・企画展 「生薬」



～令和8年4月、花を共通項として
佐倉とオランダの医療の歴史を学ぶ～

令和8年4月、私は佐倉市民の一人として、花を共通項に、駐日オランダ王国大使館の庭園で開催されたチューリップ観賞に参加しました。会場ではオランダの伝統菓子「ストロップワッフル」が販売されており、その収益は福島県が実施する「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ寄付されるとのことでした。

また、千葉県立中央博物館では、3月14日から6月15日まで企画展「生薬～自然からの恵み～」および人気作品「薬屋のひとりごと」との関連展示が開催されました。私はこの展示を見学し、旧千葉県薬草園の生薬標本コレクションを中心に、生薬について学ぶ機会を得ました。

展示解説によると、江戸時代の本草学者たちは、オランダの書物や来日した医師であるツェンベリヤシーボルトらから、西洋の薬学や植物学の知識を学んだとされています。日本の医療や薬学の発展において、オランダとの交流が大きな役割を果たしていたことを改めて知ることができました。

同日には佐倉順天堂記念館も訪問し、館内の見学とともに庭園に咲く芍薬などの植物を観賞しました。歴史ある医療の場と植物とのつながりを身近に感じることができ、大変有意義な時間となりました。

なお、小学生にも展示内容を分かりやすく伝えるため、佐倉市魅力推進部文化課では見学用ワークシートを作成しています。市のホームページからダウンロードできますので、ご活用ください。

また、佐倉日蘭協会会員の方は佐倉順天堂記念館に無料で入館することができます。花暦をご確認いただき、四季折々の花々を楽しませてはいかがでしょうか。



花や医療の歴史、オランダ文化にご興味のある方は、ぜひ佐倉日蘭協会へのご入会をご検討ください。
【事務局 千明 正義】

当協会会員「オランダ音楽のタベ」 辻ゆりピアノリサイタルを聴いて

5月30日、6月にはまだという日なのに陽差しはもう真夏、たまたま2年続けて開催できなかった足立区の花火大会と重なって人出が多い中、五反野駅近くの住宅街に50人定員のひっそりとした「わたなべ

音楽堂」がありました。

辻ゆりさんは北海道出身の若い女性、5歳からピアノを始めて世界の珍しいピアノ曲に心惹かれその研究の成果である今日のリサイタル(辻さんは当協会へ入会して頂きました。)

オランダのスウェーリンクは有名ですが、他の作曲家は初めてでルネサンス時代から現代までたくさん紹介してくださり感謝致します。

オランダ音楽といっても、ドイツ、オーストリア、フランスの影響を受けているのだと思いました。

現在活躍中の日本人作曲家水谷晨の「オランダ組曲」は日本人らしい感性がどこことなく感じられて素敵でした。

全9曲1時間半の演奏会でプログラムに人物の紹介、曲の解説が細かく載っていて大変参考になり、これからもオランダ音楽に親しんで行きたいと思いました。

辻さんは熱心に「もっと知ってほしい世界の作曲家」を研究し発表なさっています。ますますのご活躍を祈念します。

【監事 堀 睦子・事務局 若宮 陽子】



オランダ関連情報



-レンブラント版画展-

国立西洋美術館 企画展「版画家レンブラント 挑戦、継承、インパクト」7月7日(火)～9月23日(水・祝)開催中。アムステルダム・レンブラントハウスが所蔵するレンブラントのエッチング作品と国立西洋美術館所蔵の同作品等が展示されている。

-天皇皇后両陛下のオランダ・ベルギー公式訪問-

両陛下は6月13日から2週間にわたりオランダ・ベルギー両国を国賓として公式ご訪問、現地で両国王室と親しく交流され26日に帰国されました。13年ぶりに訪問されたオランダではオランダ王室の離宮ヘット・アウデ・ロー城やアムステルダム王宮に滞在され、各種公式行事に臨まれ、デンハーグの平和宮、ライデン大学、水の研究所デルタレスなどにも足を運ばれました。また、14日には両陛下と国王ご夫妻が一緒に FIFA ワールドカップ 日本対オランダ戦を TV 観戦され親交を深められるという印象的な一幕もありました。国王夫妻主催の公式晩さん会での天皇陛下のお言葉では、両国交流の歴史では医学の交流にも触れられ、現代の多岐にわたる交流からは「治水」「法の支配」「スポーツ」の例を挙げられ、両国の友好親善と協力関係の更なる発展を願うお気持ちを述べられました。

当協会では両陛下のオランダ公式ご訪問のご成功に感謝するとともに日蘭交流の更なる発展を願い、今後も有意義な活動を継続していきたいと願っています。



-琵琶湖博物館特別展示-

シーボルト江戸参府200周年記念展示

「博物館はタイムマシン—魚類学者がみた琵琶湖—」

7月18日(土)～11月23日(月) 滋賀県立琵琶湖博物館。シーボルトが持ち帰り学名付けに使われた琵琶湖の魚など重要な標本が多数来日。『トキ』の剥製がオランダ・ナチュラリスの協力により初の里帰り。

-フェルメール 真珠の耳飾りの少女展-

17世紀オランダ絵画の名品、奇跡の再来日
2026年8月21日(金)～9月27日(日) 大阪中之島美術館

* オランダ関係のイベント情報、ニュース等ございましたら、メール・FAX等で下記問い合わせ先までお知らせください。

特別会員(敬称略)

岡村美智子
(株)小川園
(株)オランダ家
(株)木村屋
(株)クリケッ
日本電気商会
(社)佐倉市観光協会
佐倉商工会議所
DIC 川村記念美術館
佐倉順天堂医院
みらいの里さくら

佐倉ロータリークラブ
田中育子
千明 (CHIGIRA, M)
佐倉厚生園病院
宮北英志



佐倉日蘭協会

〒285-0037 佐倉市本町 81 佐倉順天堂記念館
普通会員 1 口 2,000 円 / 特別会員 1 口 5,000 円
* 新規会員募集中 詳細は下記問い合わせ先へ
事業参加申込・問い合わせ
佐倉市魅力推進部文化課
文化振興班 佐倉日蘭協会担当
〒285-8501 佐倉市海隣寺町 97
TEL . 043-484-6191
FAX . 043-486-9401
e-mail: bunka@city.sakura.lg.jp
ホームページ「佐倉日蘭協会」で検索

